



【子どもの姿が宝物】

学習参観ならびに学級懇談会へご参加いただき、ありがとうございます。行事とは違った日常的な学習や生活の様子、共に過ごす友達との関わりなど、ご覧になることができたことと思います。担任の先生から、子どもたちのこの一年間の宝の姿を聞きました。

1年生!初めての小学校生活で精一杯だった1学期。行事の練習に、心が折れてしまいそうになりながらも「一緒にがんばろう」「できてるよ。すごいよ。」と友達の様子に目を向け、お互いが声をかけあうことで、最後までやりきることができました。まさに学年目標「なかよし」を表現しています。

2年生!自分の思いを伝えることに一生懸命な1学期。学習の中で聞くことの大切さを学び、友達と協力しながら創り上げる喜びに気づき、一人ひとりが友達のいる幸せを知りました。今では、友達と声をかけあい、お互いに伸びていく宝物がいっぱいです。

3年生!自分のことで精一杯だった子どもたちは、日々の生活の中で、「あきらめず チャレンジ心を一つに」を合言葉に努力を重ねることを通して、素晴らしく「チームワーク」を発揮できる姿になりました。行事の始めは、意見がぶつかったり戸惑ったりすることもりましたが、スポーツフェスティバルや学習発表会などの大きな壁を乗り越えるたびに、みんなで励まし合う喜びを学びました。

4年生!クラス代表を決める時、「誰かがやってくれるだろう」と誰かの姿を待っていましたが、3学期は自ら挙手する姿が増えました。他にも自身のすべきことが終わると、クラスのために黒板を綺麗にし、窓を閉め、今では誰かのために自ら積極的に行動する宝が輝いています。

5年生!スポーツフェスティバル、委員会など高学年として動くうちに、考え、率先して行動するようになりました。大人に頼らず、友達同士で声をかけあったり、時間を見て行動したりする宝の姿は、自然学校でより大きく創り上げられました。今では、来年度、来住小学校をどう創ろうかと真剣に考え、最高学年としての行動の意識が高まっています。

6年生!なかよし班活動を通して、低学年に寄り添い、声をかけたり、教えたりする中で、思いやりが生まれました。時間の意識があまりなく、指示されてから動いていた姿が、修学旅行の活動をきっかけに、時間を気にして、声を掛け合い、自ら行動できる6年生になりました。

ご家庭で、お子様の宝物を笑顔いっぱい伝え、一緒に喜ぶことで、お子様のよりよい成長をこれからも期待します。

【言葉の力】

口にした言葉は霊力を持ち、現実に影響を与えるという「言霊(ことだま)」。わたしは、「あー、あの時、言葉にしたから、こうなったんだ。言うんじゃなかった。」と後悔することもあれば、「できる!」と強く言葉で自分に言い聞かせ、良い方向へいったこともあります。言葉の力を強大なものとして、「言葉の扱いには注意が必要である」ことを実感します。「ペンは剣よりも強し」の格言があります。言葉は、使い方一つで、天使にも悪魔にもなります。わたしたちの日常で言葉を使うこと、発信することは、とても有用で便利ですが、誤って使うと刃物になり、自分や周りを傷つけ、大変危険なものになってしまうことを日々感じます。

人が集まれば、言葉で溢れかえるイメージが私の中にはあります。それでも、ふと周りを見た時には、顔を合わせている食事中やリビングにいる時、全員がスマホを手にし、会話を交わさない場面を目にします。豊かな生活や便利さと引き換えに、いつの間にか「人との繋がり」を失い、温かみを感じない空間、人間関係、時間を過ごすことが増えているのではないのでしょうか。

そのような中で、考えたいことがあります。今までは、いつでも会話ができる環境と、十分なコミュニケーションを図ろうとする意識さえあれば、人間関係は、うまくいくと思っていました。しかし、コミュニケーションというのは、愛情と信頼関係があってこそ成り立つのではないのでしょうか。その愛情と信頼関係は、「先に相手を理解しようと努め、常に相手を思いやる心を大切にこそ成り立つのでは」と、この頃思うようになりました。

人間関係で、多少の誤解や摩擦、傷つくことは必ずあります。それでも関係性を絶たず、気持ちを発信し続け、相手とコミュニケーションを続ける（知っていると思い込んでいた相手のことを理解できていなかったことに気づきそれを埋めようとする言動）ことを大切にしていくと、本当の意味で関係を築いていけるのではないのでしょうか。

そこで、相手の悪いことばかり言ったり、自身の思いばかりを一方向的に伝えたりするのではなく、自分との対話を通して自分の状況や気持ちなどを客観的に見て、考えを深め、整理していくと相手とのコミュニケーションを続けることができます。そして、自分の思考を言葉で少しずつ形にしていくことで、自分を俯瞰する行為となり、人間力の向上につながる行為にもなり、本当のコミュニケーションを図り、信頼関係が生まれると信じています。

情報化社会だからこそ、本当に大切な自分の言葉は、誰かに流されたり、与えられたりするものではなく、自分自身で見つけ出し、整理して、伝える責任あるものです。周りに惑わされず、自分と対話し整理する中で、自分自身を俯瞰し、相手を理解しながら、子どもたち一人ひとりを正しい方向へ支えていきたいものです。

2月の主な行事予定

- 4日(水) 小野南中学校一日入学(6年)
委員会委員長立候補演説・選挙
- 6日(金) 児童朝会・集会
- 9日(月) 全校朝会 なかよし班遊び
- 10日(火) 校外学習:あお陶遊館(きすみ・たんぽぽ)
- 12日(木) 新1年生一日入学 なかよし班学習
- 13日(金) クラブ活動
- 17日(火) 青少年センター下校支援
校外学習:姫路動物園・姫路城(1・6年)
- 19日(木) 引継ぎ集会
市場小環境学習交流会(3年)
- 20日(金) おの検定 ハートフル弁当
- 26日(木) 新役員表明式
- 27日(金) 6年生を送る会 委員会



★年末には、学校評価への回答をありがとうございました。集計結果のご報告を裏面にいたしました。評価については、「A=そう思う」「B=ややそう思う」を肯定的(A+B)と捉え、まとめさせていただきます。今後も保護様とともに子どもたちの未来の姿、めざしたい子どもの姿を共有、協働し、子どもたちの成長をともに喜べるように引き続き努めて参ります。

学校評価（アンケート）の集計と分析結果

肯定的（A+B）評価が90%を超えている項目は大変良好としています。

95%以上(濃) 90%以上(薄) 40%以上 20%以上

質問項目	保護者	児童	保護者	児童
	そう思う・ややそう思う(%) A+B		あまり思わない・思わない(%) C+D	
①学校が楽しい	98	94	2	6
②夢や目標をもっている	80	93	<u>20</u>	7
③あいさつ	84	95	16	5
④正しい言葉遣い	71	98	<u>29</u>	2
⑤学習意欲	85	98	15	2
⑥お手伝い	70	94	<u>30</u>	6
⑦読書意欲	53	74	<u>47</u>	<u>26</u>
⑧決まりや約束を守る	89	98	11	2
⑨友達と仲良く	98	100	2	0
⑩ゲームの取り決め	75	82	<u>25</u>	18
⑪自分を大切にしている	98	77	2	<u>23</u>
⑫困ったとき相談	92	91	8	9
⑬お子さまとよく話す	93	93	7	7
⑭バランスの良い朝ご飯	79	90	<u>21</u>	10
⑮学校の学習工夫	94	97	6	3
⑯小中一貫	95	94	5	6
⑰地域とのつながり	98	100	2	0
⑱行事への取組	99	100	1	0
⑲情報の提供	99	89	1	11

Ⅰ 成果について

【保護者】90%以上の大変良好な項目・・・19項目中10項目 [7項目が95%以上の高評価]

【児童】90%以上の大変良好な項目・・・19項目中15項目 [8項目が95%以上の高評価]

「学校が楽しい(保護者98%・児童94%)」「友だちと仲良くしている(保護者98%・児童100%)」の項目で保護者と子どもたち共に高評価となっています。これに関しては、

アンケート結果⑫「困ったときに相談ができる相手がいる(保護者92%・児童91%)」⑬「お子さまとよく話す(保護者93%・児童93%)」⑭「情報の提供(保護者99%・児童89%)」から、日々の学校生活の様子をスクリーンで配信したことにより各家庭で学校生活や集団でのお子様の様子などを話題にされ、喜びを共有し合う中で、肯定的な印象を持っていることが伺えます。また、困ったことや不安なことがあった際に相談できる相手が身近にあり、安心して気持ちを伝えられる環境が整っている温かいご家庭の姿があるおかげです。

また、来住小学校では、本年度から教科担任制の取り組みを始めました。専門的に教えることの良さや教科の学びを系統的に見て指導できるよさがみられました。「学校の学習工夫(保護者94%・児童97%)」にみられるように、教師が1年間のカリキュラムに加え、複数学年の系統だったカリキュラムを捉え、現学年で必要な力を整理し、つなぐことで、子どもたちの確かな学びを深めるための工夫と準備が出来てきたと考えます。併せて、来住小学校の学習スタイル(トリプル学習、なかよし班学習、音読等)により、友だちと対話を通して共に学ぶ楽しさを感じている児童も多くいます。これからも自分の考えや学びを家族や先生、友だちに話すことで、視野を広げ、温かな人間関係を築いてほしいと願います。そして、子どもたちが安心して学べる「仲間」と「時間」と「空間」を準備することで、学力向上へとつなげていきます。今後も、学校の様子を聞いたり、家族でたくさん話をしたりする時間をとっていただき、ご家族が、学校で学ぶ意欲と楽しさの原動力となるよう、引き続きよろしく願いいたします。

今年度は、スポーツフェスティバルで親子競技を設定しました。「行事への取り組み(保護者99%・児童100%)」が高評価であるように、子どもたちの頑張りだけでなく、保護者様、地域の方にも参加していただき、学校と家庭、地域が1つになり、学校行事を作り上げることができたことは、うれしい限りです。また、「地域とのつながり(保護者98%・児童100%)」から、田んぼの学校(総合的な学習の時間)を始め、環境学習、福祉学習、各学年での体験学習も、「地域の人」をはじめ、「もの」「こと」とつながって、子どもたちにとって大きな学びとなり、充実したものであったと考えます。

子どもたちが成長していく上で、「体験」に勝るものはありません。来年度以降も、より地域とのつながりを意識し、様々な体験学習から子どもたちの学びを協働的で深いものにしていきます。

様々な学習・生活体験を実施することができたのも、一重に保護者様をはじめとする、家庭、地域の協力があったことです。感謝申し上げます。

2 課題について

<保護者と児童に差異がある項目>

- ④正しい言葉遣い (保護者71%・児童98%)
- ⑥お手伝い (保護者70%・児童94%)
- ⑦読書意欲 (保護者53%・児童74%)
- ⑪自分を大切にしている (保護者98%・児童77%)

<保護者児童共に評価が低い項目>

- ⑦読書意欲 (保護者53%・児童74%)
- ⑩ゲームの取り決め (保護者75%・児童82%)

児童の評価が高く、保護者の評価が低い項目が4項目ありました。子どもたちは、自分で出来ているつもりになっていることが往々にしてあります。また、保護者様のお子様に対して願う目標の高さとお子様自身もつ目標の高さに差異が生じていることも考えられます。時折、ご家庭の中で、上記5つのことに関して、話し合う機会を持ち、意識や情報をお子様と共有していただけたらと思います。お子様との合意形成のもと、目標を設定していくことが大切です。

また、保護者様につきましては、朝の忙しい時間にお子様朝食をしっかりと摂り、元気に登校できていることに感謝いたします。川島隆太教授（小野市教育行政顧問）の脳科学理論でも、朝食の脳に与える重要性が伝えられています。（朝食摂取、基本的な生活習慣で、夢と希望をかなえよう！〈File12〉<https://www.youtube.com/watch?v=G4E3pq8-Agc>）

日中、元気に頭も体も働かせるために、バランスの良い朝食を今後も引き続き、よろしく願っています。

「読書意欲（保護者53%・児童74%）」の項目が、保護者・児童両者ともに特に低いことは、1番の課題です。今年度、学校では、4年生まで週1時間読書の時間を設け、読み聞かせを行ったり、自分の興味関心のある本に触れたりする時間を設定しました。図書委員会も読書スクラッチや読書ガチャなど、児童が本を手にする取り組みを行ってきました。また、新規図書も128冊購入しました。しかし、休み時間に図書室を訪れる児童は偏り、読書習慣や読書量には個人差があります。そして、家庭での読書が十分に定着していない児童が見られることも分かりました。

学校図書館のさらなる活用を促すために、今後も引き続き、学年に応じた読書活動の工夫を行うとともに、家庭と連携しながら、子どもたちが本に親しみ、読書を楽しめる環境づくりを進めてまいります。

ご家庭におかれましても、短い時間でも本に触れる機会をつくり、読書について会話をしていただくなど、ご理解とご協力をお願いいたします。

昨今、オンラインでのトラブルが後を絶たず、小学校の児童トラブルでも、SNS、オンラインゲームが原因となるものが、上位となってきています。本校では、児童が安心・安全に学校生活を送ることができるよう、生活指導に取り組んでまいりました。しかし、学校評価の結果から、家庭でのゲームやスマートフォン等の使用に関する取り決めが十分に定まっていない家庭が一部見られました。

その影響として、生活リズムの乱れ、宿題や学習への集中力の低下、友達関係でのトラブルにつながる場合があることが課題として挙げられます。

今年度は、児童朝会で児童会が中心となって、川島隆太教授のショートセミナーを見聞きし、ゲームやスマホについて学び、気づく時間を設けました。今後も、学年に応じた情報モラル指導や、ゲームとの上手な付き合い方の指導を継続してまいります。ご家庭におかれましても、利用時間・利用内容・約束事について、お子さまと話し合い、家庭のルールを確認していただくなど、ご理解とご協力をお願いいたします。

学校と家庭が連携しながら、子どもたちが健やかな生活習慣を身につけられるよう、共に取り組んでいきたいと考えています。

3 重点目標について

(1) 読書習慣

教育活動の方向性

具体的な方策

指標

- ・読書意欲の喚起 → 家庭読書の時間確保 → スマホを置いて、親子で1日15分の読書タイム(例)
- ・学校図書 of 充実 → 教材とのつながり → 多ジャンルの図書の購入
教材に関連した図書の購入
- ・習慣化 → 定期的な記録、確認 → 朝タイム読書
週1回図書室へ足を運ぶ取組

<読書に関するショートセミナー>

読み聞かせて能力を伸ばし、夢と希望をかなえよう! <File50>

<https://www.youtube.com/watch?v=hdB44fK-jbY>



読書習慣を身につけ、夢と希望をかなえよう! <File59>

<https://www.youtube.com/watch?v=KbFnS7O2AqM>



4 学校運営協議委員の方々の主な意見について

- ・全学年一緒に給食の取り組みが良かったと思われる。給食や遊び班や掃除も学年を越えて取り組んでいる発展型としてとてもいいと思う。
- ・少人数学校の特色をいかし、運動会で親子競技を取り入れたり、学年に縛りがなく、なかよし班での活動を多く取り入れたり、他の学年との関わり交流が多い。
- ・毎日の様子をスクリーンを使用して保護者へ公開。写真つきでその日の様子がよく分かり、大変ありがたい。
- ・コミセンきすみので写真コンテストを実施し、優秀作品を市役所、コミセンきすみので展示しますが、子どもたちにも見てもらいたい作品を選んで学校で展示したいと思います。

このたびは、学校運営協議員の皆様より、本校の教育活動や学校運営に関して、貴重なご意見・ご助言をいただき、誠にありがとうございました。ご意見から、学校の取組を温かく見守っていただいていることとともに、今後さらに充実させていくべき課題について多くの示唆を得ることができました。

今後も、学校運営協議員の皆様からのご意見を生かし、家庭、地域との情報共有や協力体制を大切にしながら、よりよい教育活動の充実に努めてまいります。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

5 保護者様のご意見について

- ・スクリレの発信が多すぎて大事な情報が埋もれてしまう!情報の重要度や優先度により発信の方法を分けるか毎日発信を減らすか再考して頂きたい。
- ・スクリレ、毎日写真を楽しみにしています♪お忙しい中ありがとうございます!!
- ・学習発表会やマラソン大会など行事の案内もスクリレで送っていただきたいです。
- ・スクリレの「学校生活」が毎日あって多すぎると思っています。肝心な情報を探すのに苦労する。学年別でスクリレしてもらえると助かる。
- ・行事はもちろん、授業も休み時間も給食も、たまにある特別授業料みたいなものも、全部、楽しいようです♪楽しい学校作りをありがとうございます!!
- ・平素より、娘の成長を温かく見守り、良い方向へご指導くださり、心より感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしく願いいたします。
- ・いつも温かく見守っていただき、ありがとうございます。
- ・毎日送られる日常生活のスクリレは紙の学校だよりを見るので無くても良いと感じている。重要な案内に限定してスクリレで流して欲しい。情報の取捨選択が大変で先生の負担軽減にもつながるのではないのでしょうか。
- ・毎日アップされる写真がとても楽しみです。子どもとの会話がよりわかりやすく盛り上がります。これからも楽しみにしています!

このたびは、学校評価に際し、保護者の皆様から貴重なご意見・ご感想をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

皆様からのご意見は、本校の教育活動や学校運営を見つめ直す大切な機会となり、教職員一同、心より感謝申し上げます。いただいたご意見を真摯に受け止め、今後の教育活動の改善や、よりよい学校づくりに生かしてまいります。(※今回掲載はしていませんが、スクリレの保存機能に関してのご意見をいただいております。画像保存機能につきましては、個人情報拡散の危険性の観点から、スクリレ内でのみとさせていただきます、保存はできないように設定させていただいておりますことをご理解ください。)

今回、学校と家庭、地域が連携し、子どもたちの健やかな成長を支えていくことの大切さを改めて感じています。今後も、保護者の皆様と情報を共有しながら、安心して通える学校づくりに努めてまいります。引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。